

単位認定チェックシート(ver.2011.8.15【2007.10.22改】)

講義名	星座をみつけよう		
種別	選択科目	コード	check-S3-1
氏名	受講番号( )		
講座受講	20 年 月 日	担当講師	
実技試験実施日	20 年 月 日	天候	
判定	合・否 ※どちらかに○	試験実施者氏名	
コメント			
単位認定基準	講座受講の上、7以上チェックが入れば合格とします。		

太枠内を記入の上、ご持参ください

チェック項目の集計 ※試験実施者はチェックの結果を以下に集計してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○×	星座早見		天の川等	北極星	星座		星雲等	惑星	

※試験実施者へ：**ゴシック体（太字）の文章は試験実施者のセリフです。**

尚、チェック終了後、この用紙を担当者までご提出下さい。

### 【記述試験】

試験を受ける方は、単位認定試験の前に事前に以下の問いに答えてから、この用紙を試験実施者に渡してください。

●次の文が正しいときには○、間違っているときは×を( )の中に記入しなさい。

- ( ) 肉眼で見える恒星の数は全天で数千個程度である。
- ( ) 十分に暗いところでは、肉眼で6等星まで見える。
- ( ) -1等星というのは1等星よりも明るい。
- ( ) 月の出る時刻は毎日少しずつ遅くなる。
- ( ) 三日月のころ、月の欠けている部分も淡く光って見えるのは、地球が太陽の光を反射して月を照らしているためである。
- ( ) 腕を伸ばして、握りこぶしで約10度の角を測ることができる。このようにして子供でも大人でもこの方法でおよそ10度の角度を測ることができる。

1  試験実施者は上問題が5問以上正解なら、ここにチェックをしてください。

### 【実技試験】

●星座早見盤の操作によって

- 2  8月1日午後8時の空を示してください。
- 3  8月1日、ベガの南中時刻を読み取ってください。
- 4  アンタレスが、午後8時に昇ってくるのは大体何月何日ころかを読み取ってください。

●実際の星空で

5  ポインターを使うなどして、以下から1つ以上の項目について大きな声ではっきりと名前を言いながら指し示してください。

- ・ 天の川。
- ・ 春の大曲線を指し、関係する一等星の名前をいう。
- ・ 夏の大三角を指し、関係する一等星の名前をいう。
- ・ 冬の大三角を指し、関係する一等星の名前をいう。

※天の川については、実際に見えなくても、条件がよければこのように流れているはずである、と指せればよい。

6  次のどちらかの方法で、北極星を指してください。

このとき大きな声ではっきりと説明してください。

- ・ 北斗七星を示して、それを利用する方法
- ・ カシオペア座を示して、それを利用する方法

7 □ 8 □ これから星座の名前を読み上げますので、ポインターなどを使って、指し示してください。

4つ指せたら一つをチェックし、5つ以上指せたらさらにもう一つチェックしてあげてください。

以下の星座名を繰り返し読み上げても結構です。キーとなる「\*」のついた星座は必ず指してください。

- |        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| グループ 1 | おおぐま *、うしかい、おとめ、しし *、かんむり         |
| グループ 2 | こと *、わし *、はくちょう *、ヘルクレス、さそり、いて    |
| グループ 3 | カシオペア *、ペガサス *、アンドロメダ、ペルセウス、ケフェウス |
| グループ 4 | オリオン *、おおいぬ *、おうし、ぎょしゃ、ふたご        |

9 □ 肉眼でポインターなどを用いるか、または双眼鏡を利用して、次の星雲・星団・2重星を少なくとも1個示してください。

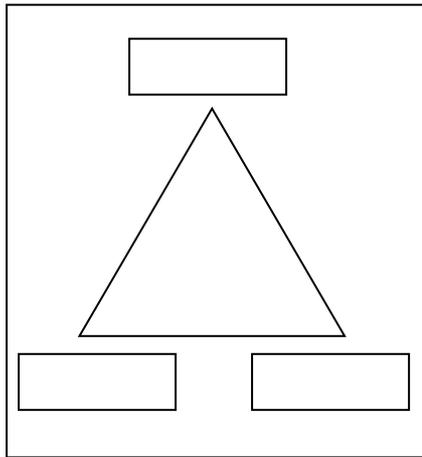
- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ・ 散開星団「プレセペ」(M44) | ・ ヘルクレス座にある球状星団(M13) |
| ・ 「アンドロメダ銀河」(M31) | ・ 「ペルセウス座二重星団 h-χ」   |
| ・ 散開星団「すばる」(M45)  | ・ 「オリオン大星雲」(M42)     |
| ・ 2重星 アルビレオ       | ・ 2重星 ミザール           |
| ・ 2重星 アルマク        | ・ 2重星 コル・カロリ         |

10 □ 金星・火星・木星・土星のうちで、今夜(夕方から夜半までくらいを考慮して)見えるものの名称を言い、現在見えているものがあればそれを指してください。見えるものがないときは「無い」と答えてください。

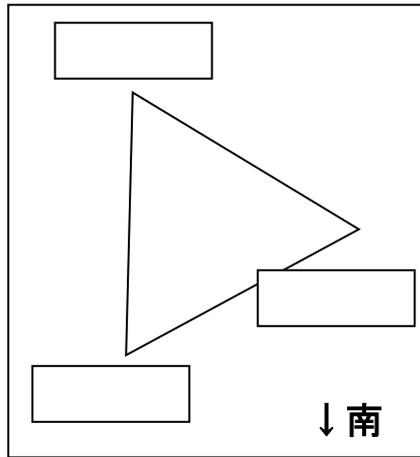
7個以上チェックがあれば合格とします。天候などの都合でお目当ての星や星座が試験当日見えないことがあるので、100点をとろうとは思わないで、確実に7個のチェックがもらえるようにしましょう。

# 「星座をみつけよう」自習課題

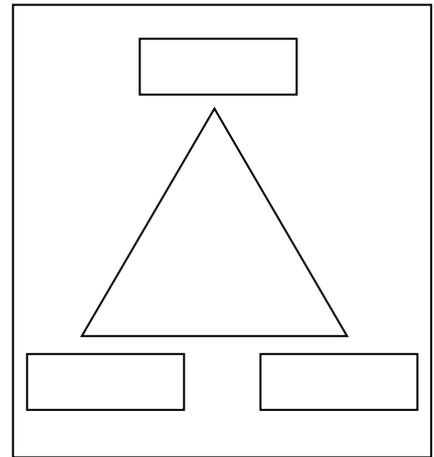
1. 星座早見盤を使って「夏の大三角形」が東・天頂・西の空にそれぞれ見える時の、恒星の名前を書いてください。(三角形は簡略化しています)



東の空



天頂



西の空

2. 次にあげる天体を、ポインター（サーチライトなどの光源で星を指し示す道具）を使わずに、方角、高度、星の並び、風景などの目印を利用して、案内してください。「握り拳〇個分」のような例えを使っても結構です。対象は家族、知人でもかまいません。

\* 満月時、周囲が明るい場所での案内や、大人数に対応する場合は、ポインターは十分に効果を果たしません。

(ア) 北斗七星またはカシオペヤ座

(イ) 北極星

(ウ) 春の大三角、夏の大三角、冬の大三角から1つをえらび、構成する星の名前

3. 実際の空で「秋の四辺形」と「カシオペヤ座」を基準に、周りの星座の位置を探してみてください。

